

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	
課題名	旭川医科大学病院皮膚科における発汗異常症例の臨床的特徴および治療経過の検討
研究期間	研究機関長の実施許可日～ 2026 年 3 月 31 日
研究の対象	2013 年 11 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの間に旭川医科大学皮膚科を受診した発汗異常の患者さん
利用する試料・情報の種類	■診療情報（詳細：病歴（性別、年齢、家族歴、既往歴、生活歴、発症時期、転機、治療（使用された薬剤名、期間）、皮膚症状（発汗異常の部位、病型）、各種検査結果（血液検査、画像検査、発汗誘発試験など）） ☐手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐血液 ■その他（皮膚科において通常診療上で得られた皮膚病理診断に使用した HE 染色プレパラート、免疫組織プレパラート） ■利用予定日（開始日 2025 年 7 月 31 日）
研究の意義、目的	発汗異常とは、発汗の過剰または低下により日常生活に支障をきたす状態をいいます。発汗低下の代表疾患である特発性後天性全身性無汗症（acquired idiopathic generalized anhidrosis: AIGA）の診断に必要な発汗検査は、実施可能な医療機関が限られており、道北・道東地域では多くの無汗症疑い例が当院に紹介されています。 一方、多汗症の診断は比較的やさしいですが、患者数が多いにもかかわらず、医療機関への受診率が低いことが課題とされています。従来は有効な治療法が限られていたことが受診率の低さの一因でしたが、2022 年以降、新規外用治療薬の登場や診療ガイドラインの改定によって、治療選択肢が増えています。こうした背景を踏まえ、当院では 2023 年 4 月に発汗異常外来を開設し、診療体制の整備に取り組んでいます。 今回、当科を受診した発汗異常患者さんの臨床的特徴と治療実態を把握することを目的に後ろ向きに解析を行います。
研究の方法	以下の情報と既存の検体を用いて解析を行います。 1）診療記録から既往歴、臨床症状、診断名などを得て調べます。 2）無汗症の患者さんについては、皮膚科において通常診療上で得られた皮膚病理診断に使用した HE 染色スライド、免疫染色スライドを再確認します。免疫染色を行っていない場合、追加染色を行います。
その他	当研究は、いかなる企業・団体からも受託研究費、試薬及び関連する消耗品の提供、医療機器を貸与（又は譲渡）されていません。本研究に利害関係が発生した場合、旭川医科大学利益相反審査委員会の審査と了承を得ます。また、本研究の経過を定期的に旭川医科大学利益相反審査委員会へ報告等を行うことにより、

	研究者と企業との利害関係について適正にマネジメントし、公平性を保ちます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 Tel: 0166-68-2523 旭川医科大学皮膚科学講座 岸部麻里（研究責任者） 試料・情報の管理について責任を有する者：旭川医科大学学長 西川祐司